



2022年 1月15日(土)に子育て講演会が行われました。今年度はコロナの影響で1回
目の講演会が中止となり、今回も開催できるのか、と心配もありましたが無事に開催できた事、本当
に嬉しく思います。コロナ対策のご協力本当にありがとうございました。

今回は、「SS式 イライラしない子育て法」というテーマで、一般社団法人青少年養育支援セン
ター「陽気会」認定CPA講演講師の門脇和美先生(ファミリーホーム和和・専門里親・子育て応援
ほほえみ隊)濱田明子先生(養育里親・子育てほほえみ隊)に来ていただきお話を聞きました。

はじめに、グッドモデリングー親が見本になるーということについてお話しされました。
10歳くらいまでの子どもたちは耳から得る情報は2割、目から得る情報が8割なので親が言っ
たことをするのはなく親がやっていることを真似してする。「何回言ったらわかるの!」はほぼ
何もわかっていませんよ。とおっしゃっておられました。

次に子育て代弁法について。中々自分の気持ちが伝えられずに泣き止まない子どもには子どもの
気持ちを親が代弁して子どもを落ち着かせる方法でまずは「眠くなっちゃったの?」「お外に行き
たかったの?」と聞いてから「そっかそっか、お外に行きたかったんだね。」と子どもの気持ちに
共感してあげて下さいね。とのことでした。

子育てにおいて親はなぜイライラするのか、、親の期待感と子どもの行動とのギャップ。期待感
は絶対的なものではなくあくまで自分(親)の主観による判断。その期待感が子どもの行動と寄り
添っているか。膨らませすぎていないか。を確認していただきたい。子どもの年齢、能力、発達
に合った「適度な期待感」を持つといいですよ。とのことでした。

子どもたちにとって伝わりやすい指示とは、、「テレビやゲームを消して子どもの気をこちらに
向けてから話す」「個別に話をする」「余計なものが子どもの視界に入らないように親が壁を背に
して話す」「ながら指示を避け子どもの目を見て話す」あいまいな(抽象的)な表現は理解が難
しい。(ちゃんと、しっかり、早く、もっとなど)「見たり」「聞いたり」「数えたり」できるよ
うな行動を具体的にかつ簡潔に表現したものが伝わりやすいです。(肩までお湯に入って50数え
てから上がっておいでなど)子どもと話すときはCalm(穏やかに)Close(近づいて)Concrete(具体的
に)子どもと話すときはCCCで覚えましょう。

褒められた人が、ほめる人に、、褒められた嬉しさを知っている人こそ、人を褒めることができる。
とのことで隣に座っていた方とペアになり褒めあいをしました。褒めあいが終わった後、「褒
められたことでみんなの表情がとてもよくなった。」と言ってくれました。
褒める割合は「3:1」以上。1つ怒ったら3つ褒めましょう。「6:1」が理想だそうです。

オットセイ理論、、音階の(ファ)(ソ)の音は聞き取りやすく心地がいい。
「おおっ!」+行動を描写(挨拶)「おおっ!おはよう。」など順番にみんなで練習もしました。
最後に、一番落ち着きやすい方法について、息を4秒吸って8秒吐く。難しい場合は、肩を
4秒であげて5秒で下げるといったやり方を教えていただき、終了となりました。

今回のテーマは「うん、うん」とうなずくことも多く、日々子どもたちと一緒に過ごす中で大人
がもっと心に余裕をもって接していくことの大切さを学びました。今回の講演会のテーマはのぞ
みの会役員さんが決められ、講師の先生を紹介して下さいました。ありがとうございました。当日
参加できなかった方も資料ご希望の方はぜひ事務所まで声をかけて下さいね。



だい ごう
ステーションニュース 第49号

ねん がつはっこう きぼう いえか とりつくほいくえん
2022年 2月発行 希望の家カトリック保育園



きょうとし おいては、みじか ちいきにおけるそつだん・ねつとわくぐの拠点として、ほいくしょやじどうかんが「ちいきこそだ
支援ステーション」に指定されています。子育て相談や子育て講座、育児に関する情報提供など、子育て
中の家庭に気軽に利用いただける取組を行っています。今回は、いろいろな子育て法について子
どもたちとのコミュニケーションの取り方や伝わりやすい指示の仕方などを教えていただきました。



ほいくほうしん とも い よろこ たぶんかきょうせいほいく
* 保育方針 「共に生きる喜び—多文化共生保育」

ほいくじかん あさじぶん よるじぶん
* 保育時間 朝7時20分～夜7時20分

ほいくねんれい さいじ さんきゆうあ さいじ しゅうがくまえ
* 保育年令 0才児(産休明け)～5才児(就学前)



〒601-8006

きょうとしみなみくひがしくじょうひがしいわもとまち
京都市南区東九条東岩本町28

TEL 075-681-6881 FAX 075-691-9581

<https://www.kyoto-kibounoie.jp/>